



令和3年度PTA親子学習会 感想（一部抜粋）

10/15（金） 講師：富所哲平さん（アンカンミンカン）
『SDGsを学ぼう ～ひとりの百歩よりみんなの一步～』



【保護者】

- 自分の日々の生活の中で、やれることがいくつもあるような気がしました。豊かであることを当たり前と思ってしまうのではなく、小さな気付きが大切なのだと思います。笑いあり、感動ありのお話で、引き込まれていきました。本当にありがとうございました。
- SDGsについて理解が深められました。楽しく学べました。牛乳の買い方を反省しました。これから気をつけたいと思います。身近なところで、できることを見つけたいと思います。
- 生活が豊かになったと感じていましたが、とんでもない勘違いだと思いました。拝見させていただいた動画は、涙なくして見られないものでした。今後の生活・行動に活かせるように頑張ります。
- 今日は、知らないことをたくさん知ることができました。「学ぶ」ことができるとてもよい学習会でした。地球の今の現状を知れたので、これからは、自分の行動の一つ一つを気かけ、自分の孫やその先の世代まで考え、行動していきたいと感じました。「成長」は、まだまだずっと続けていかなければですね。富所さんの講話、とてもわかりやすく、テンポよく、1時間あっという間でした。ありがとうございました。最後のビデオ、心に響きました。
- SDGsを深く考えたことはありませんでした。今日お話を聞いたり動画を見たりして、他人事ではなく自分自身が意識しなければならぬと思いました。

【1年生】

- アンカンミンカンの富所さん、今日はありがとうございました。私はSDGsのことはあまりわかっていませんでしたが、今日で色々な勉強や体験をさせてもらいました！おもしろい話もしてくださったので楽しめました。本当にありがとうございました。
- 地球のために、しっかり自分のやるべきことをやろうと思いました。すごく勉強になりました。
- 私たちは生き物のおかげで今を生きているので、それを忘れずに暮らし生活していきたいです。
- 私は、6年生の時からSDGsに関心をもっていて、自分のできることは何でもしてきました。今回ので、またいくつか知識が増えたので、自分に何ができるか考えて行動していきたいと思いました。
- 8歳の男の子や女の子も環境のために動いていると知って、私も何かしなければなと思いました。世の中、たくさん問題があって、すべて解決するのは難しいことですが、私も少しでも問題を解決することにつくして、誰かを救いたいと思いました。
- やるべきことは“すべて”やったと言えるように、という言葉が個人的に一番心に残りました。8歳の子だったとしても私より強い心をもっていることは確かだと思いました。この先の次の世代の子たちのために自分のやるべきことをやりきる努力をしたいと強く感じることでできる講演だったと思います。
- 私はこの17のSDGsは小学校時代から知っていましたが、本当に2030年までにやらないといけないことがわかりました。なので、今日教わったことを忘れずにいきたいです。特に今は世界で協力していることを考えて、全員が当事者として頑張ります。
- 「人は知ってしまったら必ず気に掛けるいきものだ」自分を含め、友達や大人の人、全員が当事者で地球の自分事化してSDGsの全ての項目を2030年までに達成できるように毎日心がけていきたい。
- 今日のお話を聞いて、ミツバチの話がビックリしました。このままじゃ地球が危ないので、僕の一步で地球を0.0000001%でも変えられたらいいと思います。
- 世の中の物事についてたくさんの視点をもつことが大切だと思いました。SDGsのできることは、今からでも誰もができることなのでやっていきたいです。
- 今までSDGsを強く意識したことはなかったのですが、今の世界の状況を知り、私たち一人一人が向き合うべき問題であることを理解しました。これから考え方や行動を変え、「成長」できるようにしようと思いました。
- 日本も世界もヨーロッパぐらい環境問題を意識できたらいいなと思いました。私は人任せにすることが多いので、責任感をもって行動したいです。また、SDGsの意味が正しく知れてとても嬉しかったです。今日の話忘れずに、これから過ごしていきたいと思います。

【2年生】

- ミツバチや熱帯雨林、シロクマの話聞き、初めて知ることが沢山あった。富所さんが言っていたように、まず知り、心に置いておくことが大切だとわかった。そして、「地球を自分事化」し、持続可能な未来、地球をみんなで作っていききたい。
- 200円で買えるTシャツの自販機の動画を見て、同じ10代の人が16時間働いているところを見て、世界では学校には行かずに働かないと生活できない人がいるということがわかりました。これは富所さんが言っていた「自分さえよければよいじゃダメ」だと思いました。
- 今日の話聞いて、自分は何ができるか考えようと思いました。SDGsについてもっと考えて生活して、コアラや色々な動物のことを考えて生活したいです。
- 「SDGsは2030年までだから、まだ先だな～」と思っていたけど、意外とすごく身近で、地球は危機なんだと思いました。自分にできることをできる限りしたいと思いました。
- SDGsの名前はわかっていたのですが、どれが地球にどのような影響を与えているかはよくわかっていなかったの、今日の講演を聞いて理解できたのでよかったです。
- SDGsを達成するために、様々な取組が行われていることを知り、とても協力したくなった。自分と他の命にあとほんの少し優しくすることを心がけて、みんなの一步を踏み出せるように身近なところから始めたい。
- 私は、今日のお話を聞くまで、SDGsは「自分にはあまり関係のないこと」だと思っていたが、そうではなく、全員がSDGsの当事者であり、地球を「自分事化」して考えることが大事だと感じた。これから、何か身近にできることを探して、実際にやってみようと思った。
- 今までSDGsは「テレビや学校で話題になっているな」としか思っていなかったけど、自分たちでやっていかないといけない本当に重要な目標ということがわかったの、自分にやれることからやっていききたいと思いました。
- 講師の方が言っていた自分だけよければよいという考えを、自分の中からなくしていきたいと思います。そして、先のことを意識して生活していきたいです。

【3年生】

- SDGsは世界で協力していかないと達成できないことがわかりました。また、自分のことだけではなく、他の人や生物のことも考えて行動していくことが大切だと知り、これから意識して生活していくべきだと感じました。本当にありがとうございました。
- 一番初めに私は今日のお話を聞いて「悲しい」と思った。実際に起きたことを話で聞いたり、映像で見たりした時、より現在の世界の状況がわかり、自分も何かできることはないかと思った。
- 今日の話聞いて、私は「もう一度自分の生活を見直そう」と思いました。自分たちは普通だと思って行動していること一つ一つが、未来の自分たち、他の国の人々、生物たちを苦しめていると考えると心が痛くなってきます。しっかりと自分の生活を見直していきたいと思いました。
- SDGsの内容は知っていたが、具体的に何をすればいいのか、どのような意識をもって取り組めばいいのかわからなかったの、すごく勉強になった。「自分さえよければ頑張っているからいい」ではなく、世界中の人たちが一つになって時代の変化を越えていく問題と向き合うべきだと思った。
- 一人一人が電気を消すなど、とても小さいことで少しでも状況を変えられるとわかった。「自分だけよければよいじゃダメ」本当にそうだと思った。地球の反対側で苦しんでいる人のために、できることを見つけて行動したい。
- 自分たちがしている行動が地球温暖化をもたらして、その結果、自分たちに戻ってくることがわかった。これを機会に地球のためになる行動をやっていこうと思った。
- SDGsについてよく知らなかったが、地球温暖化をはじめ、地球の環境を守るために、自分が何をすべきか、ものごとの理由と意味がわかる時間だった。
- SDGsについて新しいことを知ることができました。世界中で様々なことが起こっていることを見過ぎてはいけない、自分が少しでも役に立つことができればよいと思いました。
- いま世界は自分が思っている以上に危機感をもたなくてはいけない状況になっており、SDGsを達成させるために、～一人の百歩よりみんなの一步～が大切だと知り、世界で協力し、助け合わなければならぬと思いました。